



こうらちようりつとしょかん であわ: 38-8088 ファックス: 38-8089

図書館ホームページで、カラー版を見ることができます。 HPアドレス: <http://www.koura-lib.jp/>



月	火	水	木	金	土	日
					1	2
3	4	5	6 西小 いどう図書館	7	8 おはなし会	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21 びよびよひよこの おはなし会	22	23 子ども科学教室
24	25	26	27	28	29	30
31						

あいている時間: 水・木・金 午前10時から午後6時
土・日 午前10時から午後5時

色のついている日は、お休みです

7月のイベント

- 7月 8日(土) 午前11時~ おはなしかい (小さなお子さんから参加いただけます)
- 7月 21日(金) 午前11時~ びよびよひよこのおはなしかい

なつやす こ がくきょうしつ (0~2さいの、赤ちゃんむけのおはなし会です)

夏休み子ども科学教室

コロンスの卵 ふじさわとおる先生と輪ゴムでおもちゃをつくろう

7月23日(日) 14:00~

場所: 図書館2階 たたみのへや

対象: 町内に通学している小学生

※ 小学3年生以下の方は必ずおうちの人と参加してください。

申し込みが必要です。詳しくはチラシをご覧ください。



あたらしく入った本

えほん

うろおぼえ一家のきゆうじつ	出口 かずみ	理論社	あか・あか
きみがいるからたのしい	スムリティ・ホールズ	化学同人	き・あお
10ぴきのおばけのけんこうしんだん	にしかわ おさむ	ひかりのくに	あお・あか
どすこいすしずもう やさいばたけでおおあばれ!	アン マサコ	講談社	みどり・あか
にらめっこしましょ むっしっし	よこた いくこ	金木犀舎	みず・あか
パンツをはいたクマ	ジョリ・ジョン	化学同人	ちや・あお
やさいのはななんのはな?	宮崎 祥子	岩崎書店	むらさき・あか

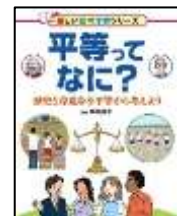
よみもの

まひる 真屋のユウレイたち	岩瀬 成子	借成社	Fイワ
ききみみトーマス	桂 雀喜	あかね書房	Fカツ
メダカ姫	堀 直子	PHP研究所	Fホリ
やらの一本 剣道まっしぐら!	八槻 綾介	ポプラ社	Fヤツ
ドアのむこうの国へのパスポート	トンケ・ドラフト	岩波書店	949 ドラ

そのほか

すごすぎる地理の図鑑	日本地理学会	KADOKAWA	290 スゴ
びようどう 平等ってなに?	神島 裕子	PHP研究所	316 ビヨ
うちゅうの学校	縣 秀彦	ニュートンプレス	440 ウチ
バレエの世界へようこそ!	リサ・マイルズ	河出書房新社	769 マイ
へんし〜ん! ことばブック	齋藤 孝	小学館	814 サイ

ほかにも、あたらしい本がはいっています。図書館いりぐちの本だなもみてくださいね。



『イワシ大王のゆめ』

チョン ミジン／再話
＜光村教育図書＞
あか・あお



むかしむかし、ひがしのうみに三千年いきているイワシ大王がいました。ある日、ふしぎなゆめをみた大王は、にしうみにすむハゼにゆめうらないをたのみます。大王がみたゆめはどんな意味があったのでしょうか。

『しらすどん』

最勝寺 朋子／作・絵
＜岩崎書店＞
あお・あか



ごはんの時間になりました。しらすどんを食べたりよう君が席をたつと「まだあるよ」とどんぶりから声が。「だいたい食べたんだからいいじゃない」と、りょうくんがむこうへ行こうとすると「じぶんがしらすだったらって、かんがえたことある？」と言われて…。

『ゆらゆらチンアナゴ』

横塚 真己人／しゃしん
＜ほるぷ出版＞
むらさき・あか



チンアナゴって知ってる？ 魚なのに体のはんぶんが砂にうまっいて、ゆらゆらゆれているんだよ。チンアナゴはすいぞくかんの人気者。どうしてへびやミミズの仲間みたいな形をしているか、巣の中はどうなっているのか、絵本で見よう。

『イカにんじゅつ道場』

香桃 もこ／作
＜福音館書店＞
Fカト



にんじゅつをきわめて道場をひらいたイカ。でもこのイカ、おなかがすくと弟子になった魚たちをついつい食べてしまいます。おなかいっぱいになったところで、やってきたのはマッコウクジラ。今度はじぶんが食べられそうになり、イカはにんじゅつを使います。

こんげつのテーマ

みず なか

水の中のいきもの



『王さまのスプーンになった

おたまじゃくし』

さくら 文葉／作
＜PHP研究所＞
Fサク



くいしんぼうのおたまじゃくしは、いつもおいしい料理を食べている王さまのスプーンになりたいと思いました。つめたい北風でコチコチにかたまり、スプーンになったおたまじゃくしは、王さまの元へと運ばれました。ところが、おたまじゃくしはつい料理をひとりでパクパク食べてしまいます。

『ぼくのあいぼうはカモノハシ』

ミヒヤエル・エングラール／作
＜徳間書店＞
943 エン



ルフスは、ある日ニンゲンのことばをしゃべるカモノハシと出会います。カモノハシはふるさとのオーストラリアに帰るのを手伝ってほしいとルフスにたのみます。ふたりはぶじにオーストラリアへたどり着けるのでしょうか。

『ウナギのいる川 いない川』

内山 りゅう／著
＜ポプラ社＞
487 ウチ



うなぎで有名なふっくら美味しいウナギ。そのウナギが、なんと絶滅してしまうかもしれない！ウナギの体の仕組みや暮らしを知りながら、ウナギを守る方法を考えてみよう。

『人の手で育てられたラッコ

マナちゃん』

井上 こみち／文
＜佼成出版社＞
489 イノ



ふくおか県のすいぞくかん「マリンワールド」で生まれたラッコの赤ちゃんのマナちゃん。マナちゃんは、お母さんのおっぱいが足りなくて、生まれてすぐ飼育員さんに育てられました。マナちゃんが1才になるまでの成長の記録です。